

⑤ 中高 国語科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「国語」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数字で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から45までの通し番号になっており、例えば、25番を 25 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

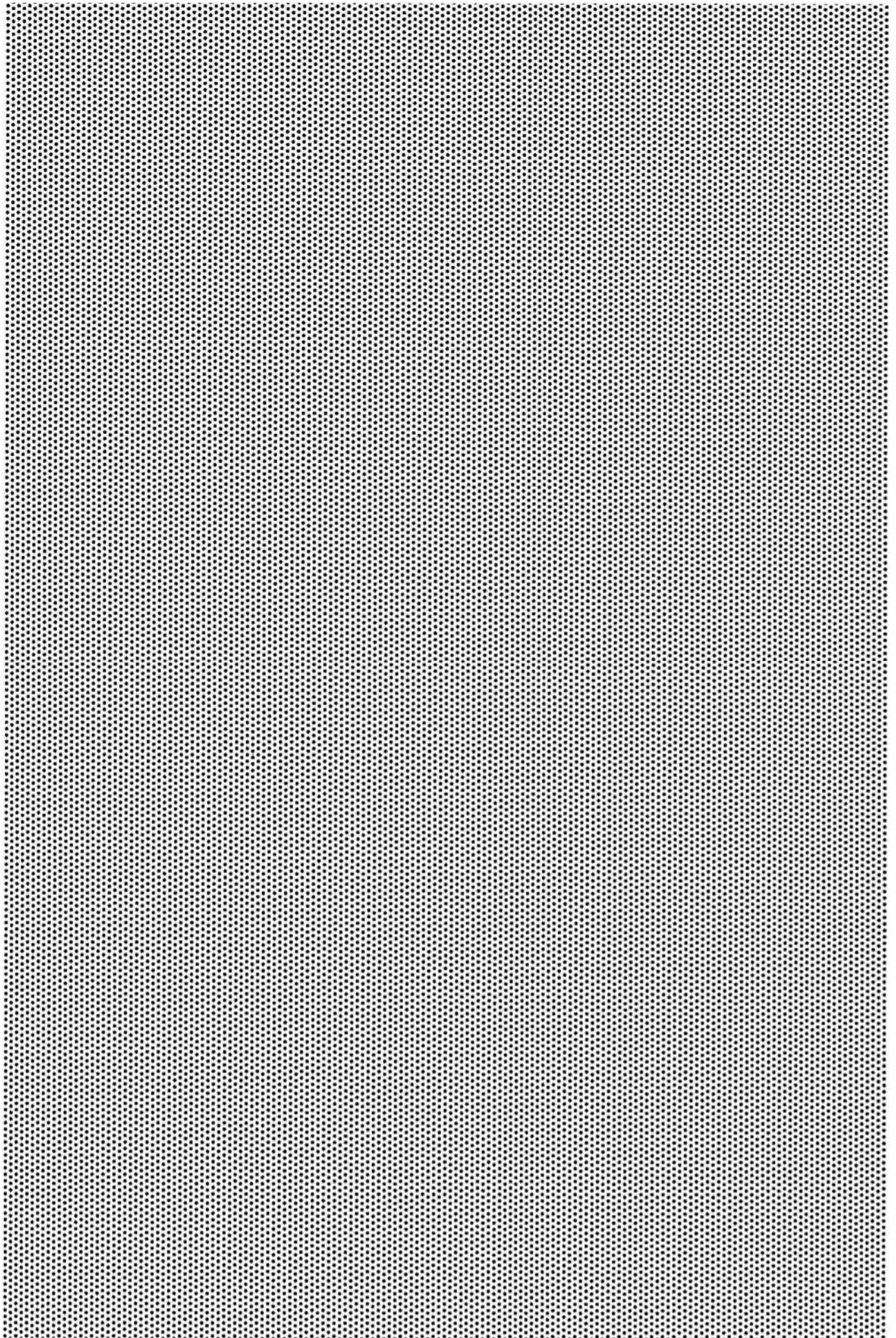
(マークシート記入例)

フリガナ	コバタ タロウ
名前	神戸 太郎
教科名	国語

受験番号	12340
小問番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
解答	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

小問番号	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36			
解答記入欄	1-25	26-50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	
解答	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

数字で記入……



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳教育に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にある。
- ② 多様な価値観の、時に対立がある場合は、対立が大きくなるように、問題に触れないように振る舞うことが、道徳教育で養うべき基本的資質である。
- ③ 道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。
- ④ 学校における道徳教育は、特別の教科である道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行うものである。
- ⑤ 学校における道徳教育は、児童（*生徒）の発達の段階を踏まえて行わなければならない。（*は、中学校、特別支援学校中学部）

1

(2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳科の目標の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、（ア）についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（*広い視野から）（イ）に考え、自己の（*人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、（ウ）と態度を育てる。

（*は、中学校、特別支援学校中学部）

- ① （ア） 道徳的諸価値 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 実践意欲
- ② （ア） 道徳的諸価値 （イ） 総合的 （ウ） 論理的思考力
- ③ （ア） 人権 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 論理的思考力
- ④ （ア） 人権 （イ） 総合的 （ウ） 実践意欲
- ⑤ （ア） 道徳的諸価値 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 論理的思考力

2

- (3)「小学校(中学校)学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成29年7月 文部科学省)「第3章 道徳科の内容」では、指導すべき内容項目をA B C Dの4つの視点で分類整理し、その内容を端的に表す言葉を付記したものを見出しにして、内容項目ごとの概要、(*学年段階ごとの)指導の要点を示している。次のアとイはA B C Dのどの視点に分類されるものであるか、適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。
- (*は、小学校、特別支援学校小学部)

ア [礼儀]

イ [伝統と文化の尊重, 国家や郷土を愛する態度]

項目

- A 「主として自分自身に関すること」
- B 「主として人との関わりに関すること」
- C 「主として集団や社会との関わりに関すること」
- D 「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」

- ① ア A イ B
- ② ア A イ C
- ③ ア B イ C
- ④ ア B イ D
- ⑤ ア C イ B

【2】 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から 掲載いたしません。

(『経済社会の学び方 健全な懐疑の目を養う』猪木武徳 中央公論新社より)

一 カタカナで書かれた傍線部 a、b、c の漢字と同じ漢字を含むものを各群の①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

a リユウセイ

- ① 答えをホリユウする。
- ② 微リユウシが空気中に漂う。
- ③ 文化がコウリユウした。
- ④ 彼のリユウギに従う。
- ⑤ 大仏がコンリユウされた。

b キハク

- ① コツキの精神で努力する。
- ② 明日にキボウをつなぐ。
- ③ 母校にキゾウする。
- ④ フンキを促す。
- ⑤ 仕事の後、キトについた。

c ヌウリ

- ① ヌウエンチで遊ぶ。
- ② ヌウゼンと泳いでいった。
- ③ 文化がユウゴウしている。
- ④ 彼のアユウデンを聞いた。
- ⑤ 自然のユウダイな姿に癒される。

a	4	b	5	c	6
---	---	---	---	---	---

二 文中の空欄

I

 ～

III

 に入る語句として適切なものを①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- ① しかし ② ところで ③ 例えば ④ 一方 ⑤ そして

I	7	II	8	III	9
---	---	----	---	-----	---

三 傍線部 A 「定義と本質を云々することは、いわゆる red herring (鱈製ニシン) となりかねない」とあるが、これはなぜか。その理由として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 社会の経済構造やその動き方、そこから生ずる様々な問題の改善や解決を考える者は、研究を進めるにあたって、他者からの批判に対し余計な「学問的」な鎧を身に付けることが多いから。
- ② 「美」とは何かというような根本的な問いに拘泥することで、本来、やらなくてはならない技術的訓練に時間をかけることができなくなり、研究の成果を挙げることができなくなるから。
- ③ 学びはじめの段階から自分自身がよくわからない定義や本質について論ずることは、概念を定義して定理を命題として打ち立て、それを証明するという社会科学の論の進め方とは合致しないから。
- ④ 「社会科学」に出てくる概念の正確な意味は、概して経験を積み重ねることによって次第に理解できるものであり、学びのはじめの段階から定義してもかえって惑わされることになるから。
- ⑤ 「経済社会」という言葉は、経済史家カール・ポランニーによって定義されているが、こうした定義を学ぶことが、かえって「経済社会」の理解を誤ったものにする可能性があるから。

10

四 傍線部 B 「一つの矛盾が含まれている」とあるが、これを説明したものととして最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 社会研究を行おうとする場合には、その方法を前もって学んでいることが必要となるが、しかし社会研究の方法は、社会研究を行うことによって身に付けることができるという矛盾。
- ② 社会研究を行うにあたり、どのようなテーマを選ぶのかは、全体についてのだいたいの知識が必要になるが、全体を知るためには、個々の部分を知らなくてはならないという矛盾。
- ③ 社会研究を行う場合には、自分自身の内発的動機から研究を進めることが大事になるが、現実にはほとんどの場合、すでに絞られたテーマや問いを外から与えられることが多いという矛盾。
- ④ 自分が答えを探したいと思う問いを一つの命題として「定式化 (Formulate)」し、そのために必要なデータを集めて結論を得ても、後続の研究者によって否定されてしまうという矛盾。
- ⑤ 大学で医学を勉強して優秀な成績を取っても、実際に多くの患者を診察し、たくさんの症例を知ることによって一人前の医者になるように、学問と経験とは両立しないという矛盾。

11

五 **B**の内容に合致しているものとして、適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 方法論を最初に学ぶことで、良い研究をすることができるが、研究によって得られた知見と現実とは乖離していることが多い。
- ② 自分が答えを探したいと思う問いを一つの命題として形を整え、必要なデータを集め、データの質を吟味すれば研究が完了する。
- ③ 自分が研究によって得た結論は、暫定的な性格を持ち、後に修正が加えられ、より一般的な結論に発展することを想定する必要がある。
- ④ よい研究者とは、分からないことをそのままにせず、分からないことを様々な試行錯誤によって明らかにしていく人である。
- ⑤ 具体的に研究の素材を確定するより前に、しっかりと「方法論」を身に付けることは、外からの批判をかわす鑑となる。

12

六 筆者は**A**から**E**までの文章に題をつけている。**C**の題として適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 問うことの矛盾
- ② 問うことの重要性
- ③ 何を選び出すか
- ④ 内発的問いとは何か
- ⑤ 持続と蓄積の重要性

13

七 傍線部C「**「持続と蓄積」**の精神」とあるが、これを具体的に説明したものであるものとして適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 先人が積み重ねてきた学問的な知識を、将来に向けて持続可能なものに改編する努力を蓄積すること。
- ② 内発的な自分の問いは何なのかということや常に考え続け、社会研究の目的を自分の内に蓄積すること。
- ③ 自分の将来を見通して、持続的に社会研究のための努力をすること、そうした努力によって知識を蓄積すること。
- ④ 社会構造を理論化した先人の知識を継続的に学び、分析に必要な技術や技能を少しずつ積み重ねていくこと。
- ⑤ 外発的に与えられるテーマであっても、内発的な関心として「何を選び出すか」を継続的に問うこと。

14

八 傍線部Dの「白河の関」を越えて陸奥の国を旅したのが松尾芭蕉であるが、次のうち松尾芭蕉の作品でないものとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 「鹿島詣」 ② 「新花摘」 ③ 「野ざらし紀行」
④ 「笈の小文」 ⑤ 「更科紀行」

15

九 次の一文は、本文の〈ア〉～〈オ〉のいずれかから抜き出したものである。文が入る箇所として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

物事には論理として理解することと、経験を通して少しずつ学ぶことがあるのだ。

- ① 〈ア〉 ② 〈イ〉 ③ 〈ウ〉 ④ 〈エ〉 ⑤ 〈オ〉

16

十 文中の空欄 に入る慣用表現として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 机上の空論 ② 百聞は一見に如かず ③ 千里の道も一歩から
④ 灯台下暗し ⑤ 事実は小説よりも奇なり

17

十一 文中の空欄 、 に入る語句の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① Y：一般化 Z：概念化 ② Y：中心化 Z：概念化
③ Y：一般化 Z：相対化 ④ Y：絶対化 Z：一般化
⑤ Y：中心化 Z：絶対化

18

十二 傍線部 E 「GDP (国内総生産)」も「貿易赤字」とあるが、これに関連する資料ア～ウを参照し、その説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 日本の輸出・輸入額

イ GDPの多い国

ウ 日本とアメリカ、中国の GDPの推移

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

- ① 2018年の日本は、貿易赤字となっているが、2010年と2018年を比較すると、日本の輸出・輸入額とGDPの額はともに伸びている。
- ② 2018年時点で、日本のGDPは各国と比べると3位となっているが、2000年は、中国を上回り2位であることがわかる。
- ③ 2018年から2019年をみると、アメリカのGDPは他五カ国に比べ増加額が大きく、GDPの推移をみると、1990年から2016年にかけて大幅に増加していることがわかる。
- ④ 日本について、2000年と2010年を比べると、GDPと輸出・輸入額は増加しているが、貿易黒字が減少していることがわかる。
- ⑤ 中国のGDPは、2000年から大きく上昇した。2019年のGDPはアメリカに次いでおり、ドイツ・インド・イギリス三国をあわせたものより多い。

【3】 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

かく言ふほどに十月にもなりぬ。十月十日ほどにおはしたり。奥は暗くて恐ろしければ、端近くうち伏させたまひて、あはれなることのかぎりのたまはするに、^Aかひなくはあらず。月は曇り曇り、しぐるるほどなり。わざとあはれなることのかぎりをつくりいでたるやうなるに、思ひ乱るるこころはいとぞろ寒きに、宮も御覽じて、「人のひなげにのみ言ふを、あやしきわざかな、ここにかくてあるよ」などおぼす。あはれにおぼされて、女寝たるやうにて思ひ乱れて伏したるを、おしおどろかさ^Bせたまひて、

時雨にも露にもあてで寝たる夜を^Aあやしくぬるる手枕の袖

とのたまへど、よろづにももののみわりなく覚えて、御いらへすべきこころもせねば、ものも聞こえて、ただ月かけになみだの落つるを、あはれと御覽じて、「などいらへもしたまはぬ。はかなきこと聞こゆるも、心づき^Cなげにこそおほしたれ。いとほしく」とのたまはずれば、「いかにはべるにか、こころのかき乱るこころのみして。耳にはとまらぬにしもはべらず。よし見たまへ、手枕の袖忘れはべるをりや（B）」とたはふれ^Dことと言ひなして、あはれなりつる夜の気色も、かくのみ言ふほどにや。

^C頼もしき人もなきなめりかしと心苦しくおぼして、「今の間いかが」とのたまはせられたれば、御返、

^D今朝の間にいまは消ぬらむ夢ばかりぬると見えつる手枕の袖

と聞こえたり。「忘れじ」と言ひつるを、をかしと^Eおぼして、

夢ばかりなみだにぬると見つらめど伏しそわづらふ手枕の袖

《注》ひなげに：けしからぬ

(『和泉式部日記』より)

一 傍線部ア、イ、ウの解釈として適切なものを①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- ア ① 似合わない ② つまらない
③ 思いがけない ④ もつたいぶらない ⑤ 聞き取れない
- イ ① つらく ② 無理なく
③ 居心地悪く ④ 理不尽に ⑤ 仕方なく
- ウ ① 恐ろしい ② 心配だ
③ 気に入くない ④ 心憎い ⑤ 不可解だ

ア	20	イ	21	ウ	22
---	----	---	----	---	----

二 傍線部 a の「せ」の文法的に正しい説明を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 使役の助動詞「す」の未然形
- ② 使役の助動詞「す」の連用形
- ③ 使役の助動詞「す」の已然形
- ④ 尊敬の助動詞「す」の未然形
- ⑤ 尊敬の助動詞「す」の連用形

23

三 傍線部 A で「あやしくぬるる手枕の袖」の説明として適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 寝ている間に誰かが露や時雨に枕を当てていたので濡れた
- ② 寝ぼけていて、いつの間にか雨の降る外に出たので袖が濡れた
- ③ 時雨や露にも当てたのではないが枕が濡れた
- ④ 時雨にも露にも当てていないのに袖が濡れた
- ⑤ 手枕をしていたらいつの間にか袖が外に出てしまっていたので濡れた

24

四 空欄 B には丁寧語「はべり」を活用したものが入る。適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 未然形の「はべら」 ② 連用形の「はべり」
- ③ 終止形の「はべり」 ④ 連体形の「はべる」
- ⑤ 已然形の「はべれ」

25

五 傍線部 C 「頼もしき人もなきなめりかしと心苦しくおぼして」の解釈として適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 頼りになる男もどうやらないらしいなど気の毒にお思いになって
- ② 自分が頼もしい男であつたらなあとお苦しくお思いになって
- ③ 頼りになる男がきつといるに違いないと悔しくお思いになって
- ④ 自分以外に頼れる男がないのであるなあと情けなくお思いになって
- ⑤ 頼りになる男がいなければいいなあと不安に思われてきて

26

六 傍線部D「今朝の間にいまは消ぬらむ夢ばかりぬると見えつる手枕の袖」の歌に込められた思いとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① いまではもう流れていない涙のようにわたしも消えてしまうのでしょうか。
- ② 夢に現れた手枕の袖をあなたはいまでも覚えているのでしょうか。
- ③ 今朝のうちにわたしが見た夢もあらかた消えてしまったのでしょうか。
- ④ あなたはすぐに寝てしまつて覚えていないのでしょうか。
- ⑤ ほんの少しだけ見た夢の間のわたしの涙はほんの少しで、もう消えてしまつただけでしょう。

27

七 傍線部E「おぼして」の主語を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 頼もしき人
- ② 宮
- ③ 女
- ④ 人
- ⑤ 夢

28

八 「和泉式部日記」と同じ日記文学についての説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 「土佐日記」は作者が土佐に帰る際の出来事を記した旅日記であり、奈良時代に書かれた初めてのひらがなによる日記である。
- ② 「蜻蛉日記」は右大将道綱母の手になる女性の日記文学であり、作者と兼家との結婚生活に始まる、二十年余りの人生の記録である。
- ③ 「更級日記」は菅原孝標の女による女流日記であり、冷泉院第四皇子・敦道親王との恋愛を描いている。
- ④ 「紫式部日記」は「源氏物語」の作者である紫式部の日記であり、「源氏物語」を書き始めたところから没するまでが記録されている。
- ⑤ 日記文学とされる作品は、いずれも当時自分の気持ちを表に出しにくかった女性が記したものであり、男性による日記文学は存在しない。

29

【4】 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。(設問の都合で訓点を省いたところがある。)

李信純、家ニ養ヒ一狗ヲ、^a字シテ曰フ黒竜ト。愛スルコト之ヲ尤甚シ。行坐相隨ヒ、*飲錢之間、皆分カチテ与ニ食ス。忽一日、於ニ城外ニ飲ミテ酒ヲ大ニ酔フ。^A帰ルモ家ニ不レ及ビ、臥ス於草中ニ。遇タ太守鄭瑕出獵シ、見ニ田ノ草ヲ深キヲ、遣ニ人ヲシテ縱シテ火ヲ燒ヒ之ヲ。信純臥ス処、恰当ニ順風ニ。犬見ニ火ノ来ルヲ、乃チ以テ口ヲ拽ニテ信純ノ衣ヲ、信純亦不レ動カ。臥ス処、比キニ有リ一溪、相去ルコト三五十歩ナリ。犬即チ奔リ往キテ入リ水ニ、湿ラセテ身ヲ走リテ来リ臥ス処ニ、周廻シテ以テ身ヲ灑セキ之ニ、獲レ免レシムルヲ主人ヲ大難ヨリ。犬運レテ水ヲ因乏シ、*致ス斃ヘ於側ニ。俄ニシテ而信純醒メ来リ、見ニ犬、已ニ死シ、^B遍身ノ毛ヲ湿レルヲ、^C甚訝其事。觀ニ火ノ踪跡ヲ、因リテ而慟ダ哭ス。聞コユ於太守ニ。太守憫レシテ之ヲ曰ハク、^D「犬之報恩甚於人。人、不レルモ知ラ恩ヲ、^E豈如レ犬乎ト。」

(撰神記より)

*飲錢：宴会

*致斃：倒れて死んでしまった

一 傍線部 a、b、c の漢字の読みとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- a ① もつと(毛) ② なお
 ③ はなはだ ④ つまり
 ⑤ いわん(言)
- b ① そこ(テ) ② にわか(二)
 ③ そうじて ④ まるまる
 ⑤ しこう(シテ)
- c ① そのまま ② もつとも
 ③ ちようど ④ あたか(毛)
 ⑤ しかる(二)

a	30	b	31	c	32
---	----	---	----	---	----

二 傍線部 A の理由として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 愛犬が戻ってこなかったから。
- ② 酔いつぶれていたから。
- ③ 気持ちのよい夜であったから。
- ④ 帰り道が遠かったから。
- ⑤ 長く引き止められていたから。

33

三 傍線部 B で述べられていることの理由を説明するものとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 主人を谷川に引っ張っていった。
- ② 火事の間、川に身を隠していた。
- ③ 主人の酔いを醒ますために、水を運んでいた。
- ④ 突然の大雨で川が氾濫した。
- ⑤ 主人を救うために水をふりかけた。

34

四 傍線部 C をすべてひらがなで書き下したものと適切なるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。傍線部の返り点、送り仮名は省いている。

- ① はなはだそのことをあやしむ。
- ② はなはだあやしきことそれなり。
- ③ はなはだしくそれいぶかしきこととなり。
- ④ そのことをはなはだおそれる。
- ⑤ そのことをあやしむことはかばかし。

35

五 傍線部Dを「犬の恩に報ゆること人よりも甚し」と読めるよう、返り点を施したもとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 犬_二之報恩_一甚_レ於_レ人
- ② 犬之報_レ恩甚_二於_レ人_一
- ③ 犬之報恩_レ甚_レ於_レ人
- ④ 犬之報恩甚_二於_レ人_一
- ⑤ 犬之報_レ恩甚_レ於_レ人

36

六 傍線部Eを次のような書き下し文にする際、()に入る語句として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

豈に犬に如()

- ① かんとそと
- ② かんやと
- ③ こうぜよと
- ④ かんとすと
- ⑤ こうじろと

37

【5】後の設問に答えよ。

一 次は、「中学校学習指導要領解説 国語編」(平成二十九年七月 文部科学省)からの抜粋である。文章中の空欄(A)～(C)に当てはまる語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

合意形成に向けて考えを広げたり深めたりするためには、立場や考えの違いを認めつつ、(A)を目指して、それぞれが(B)な意見を述べながら話し合うことが重要である。様々なものの見方や考え方があることを踏まえながらもそこに(C)を見いだしたり、様々な意見から新たなものの見方や考え方を導き出したりすることで、考えは広がったり深まったりしていく。

- ① (A) 納得できる結論 (B) 建設的 (C) 共通点
- ② (A) 納得できる結論 (B) 合理的 (C) 相手の意見のよさ
- ③ (A) 納得できる結論 (B) 建設的 (C) 相手の意見のよさ
- ④ (A) 少数意見の尊重 (B) 合理的 (C) 共通点
- ⑤ (A) 少数意見の尊重 (B) 建設的 (C) 相手の意見のよさ

38

二 次は、中学生三名が文化祭で新聞を貼り出すことになり、その内容について話し合いをしている様子である。これを読んで、後の問いに答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(I) 文章中の空欄 (A) ～ (C) に当てはまる語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- | | | | |
|---|---------|-------------|-------------|
| ① | (A) むしろ | (B) ひよことすると | (C) そうはいっても |
| ② | (A) むしろ | (B) ひよことすると | (C) では |
| ③ | (A) むしろ | (B) そして | (C) では |
| ④ | (A) つまり | (B) そして | (C) そうはいっても |
| ⑤ | (A) つまり | (B) むしろ | (C) そうはいっても |

- (2) 次は、話し合いの後に書かれた新聞記事の冒頭部分である。空欄 (A) ～ (D) に入る最も適切な言葉の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

- ① (A) 芸術作品と背景知識
(B) 芸術作品に込められたメッセージを読み解くのは楽しいものです
(C) 作品の正しい背景知識があれば
(D) 作品に触れたときの自分の心の動きに注目してみましよう
- ② (A) 芸術作品と背景知識
(B) 芸術作品の背景知識を獲得するのは楽しいものです
(C) 芸術作品に込められたメッセージに注意すれば
(D) 作品に触れたときの自分の心の動きに注目してみましよう
- ③ (A) 芸術の楽しみ方は一つではない
(B) 芸術作品に込められたメッセージを読み解くのは楽しいものです
(C) 作品の正しい背景知識があれば
(D) 一度生み出された芸術品は、作者の事情などで変化はしません
- ④ (A) 芸術の楽しみ方は一つではない
(B) 芸術作品の背景知識を獲得するのは楽しいものです
(C) 作品の正しい背景知識があれば
(D) 一度生み出された芸術品は、作者の事情などで変化はしません
- ⑤ (A) 芸術の楽しみ方は一つではない
(B) 芸術作品に込められたメッセージを読み解くのは楽しいものです
(C) 作品の正しい背景知識があれば
(D) 作品に触れたときの自分の心の動きに注目してみましよう

(3) この話し合いの流れを述べた文として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 新聞のメインテーマの決定について、アダチ、カナイの二人とヤマモトでは当初意見が異なっていた。しかし、アダチの体験談や、それに対するカナイの賛成、ヤマモトの反対など、話し合いが進む中でお互いの論理の欠点に気づき、それらを補い統合することで、三人全員の賛成を得られるメインテーマが決定した。
- ② 新聞のメインテーマの決定後、どのような結論を新聞に掲載するか論点が進んだ。アダチの体験談から、論点がずれ、カナイもそれに追従したが、ヤマモトが論点を戻した。結果として、ヤマモトが譲歩することで、アダチとカナイもヤマモトの意見を採用入れ、メインテーマが確定した。
- ③ 新聞記事のメインテーマについて話し合われることとなり、詩歌鑑賞に際して背景知識は必要かというテーマの提案がなされた。その後、テーマに対する結論へと論点は移行した。結論に対して三人の意見の合致がすぐには得られず、その違いについて三人で考察を深めた。結果として芸術の楽しみ方についての意見が一致したので、詩歌の楽しみ方を論じる記事にすることとした。
- ④ 最初に、新聞記事のメインテーマについて提案がなされた。その提案は一旦受け入れられ、テーマに対する結論へと話し合いの焦点は移行した。しかし、結論に対して三人の意見の合致が得られなかったため、その違いについて三人で考察を深めた。考察からそれぞれの芸術鑑賞の前提条件の違いに気づき、当初のメインテーマは変更され、記事は単一の視点で述べられるものではなくなった。
- ⑤ 新聞記事のメインテーマについての話し合いの結果、芸術鑑賞の楽しみ方が一つではないことが分かった。そこで、作品の背景知識の要不要について話し合われることとなった。話し合いにおいては、三者がそれぞれ、他者の会話の邪魔にならないタイミングで発言するよう留意しており、これらの工夫が三人の意見をまとめることに一役買っている。

【6】後の設問に答えよ。

一 次は、「中学校学習指導要領解説 国語編」(平成二十九年七月 文部科学省)からの抜粋である。後の問いに答えよ。

漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解するとは、点画の丸み^A、点画の方向や形の変化^B、点画の連続^C、点画の省略などといった行書の特徴に調和する仮名の書き方を理解することである。特に、平仮名は、そうした行書の特徴に調和させやすい特徴をもつが、小学校から身に付けてきた楷書^Dに調和する平仮名の書き方を踏まえ、一層文脈を意識して書くことが必要である。

読みやすく速く書くこととは、漢字の行書とそれらに調和した仮名の書き方に慣れさせ、文や文章を効率よく速く書くことであり、国語科をはじめとする各教科等の学習や社会生活における言語活動に必要な書写の能力である。また、読みやすくするとは、(F) ことである。このためには、書式などを意識し、第一学年で学習した字形、文字の大きさ、配列などに配慮することも必要である。

(1) 傍線部 A ～ E のうち、誤りを含む記述を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① A ② B ③ C ④ D ⑤ E

42

(2) 文章中の空欄 (F) にあてはまる言葉として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 書き手の思いを整理する
 ② 書き手の立場を主張する
 ③ 読み手の立場を思いやる
 ④ 読み手の読解力を把握する
 ⑤ 読み手への伝達を意識する

43

*参考 行書の例

新緑

二 次は、「中学校学習指導要領」(平成二十九年三月 文部科学省)における国語科の目標からの抜粋である。(A)～(C)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2) 社会生活における人との関わりの中で (A) を高め、思考力や想像力を養う。

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、(B) を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、(C) を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

- | | | | |
|---|---------------|-----------|--------|
| ① | (A) 伝え合う力 | (B) 言語感覚 | (C) 国語 |
| ② | (A) 筋道立てて考える力 | (B) 言語感覚 | (C) 言語 |
| ③ | (A) 伝え合う力 | (B) 想像する力 | (C) 国語 |
| ④ | (A) 筋道立てて考える力 | (B) 想像する力 | (C) 国語 |
| ⑤ | (A) 伝え合う力 | (B) 想像する力 | (C) 言語 |

44

三 次は、「高等学校学習指導要領」(平成三十年三月 文部科学省)における「現代の国語 内容 B 書くこと」からの抜粋である。(A)～(C)にあてはまる適切な言葉の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の (A) を吟味して、伝えたいこと明確にすること。

イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や (B) などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。

ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、(C) や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。

エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。

- | | | | |
|---|-------------|---------|-------------|
| ① | (A) 論理性や整合性 | (B) 重要度 | (C) 根拠の示し方 |
| ② | (A) 論理性や整合性 | (B) 難易度 | (C) 資料の引用方法 |
| ③ | (A) 妥当性や信頼性 | (B) 重要度 | (C) 資料の引用方法 |
| ④ | (A) 妥当性や信頼性 | (B) 難易度 | (C) 資料の引用方法 |
| ⑤ | (A) 妥当性や信頼性 | (B) 重要度 | (C) 根拠の示し方 |

45

